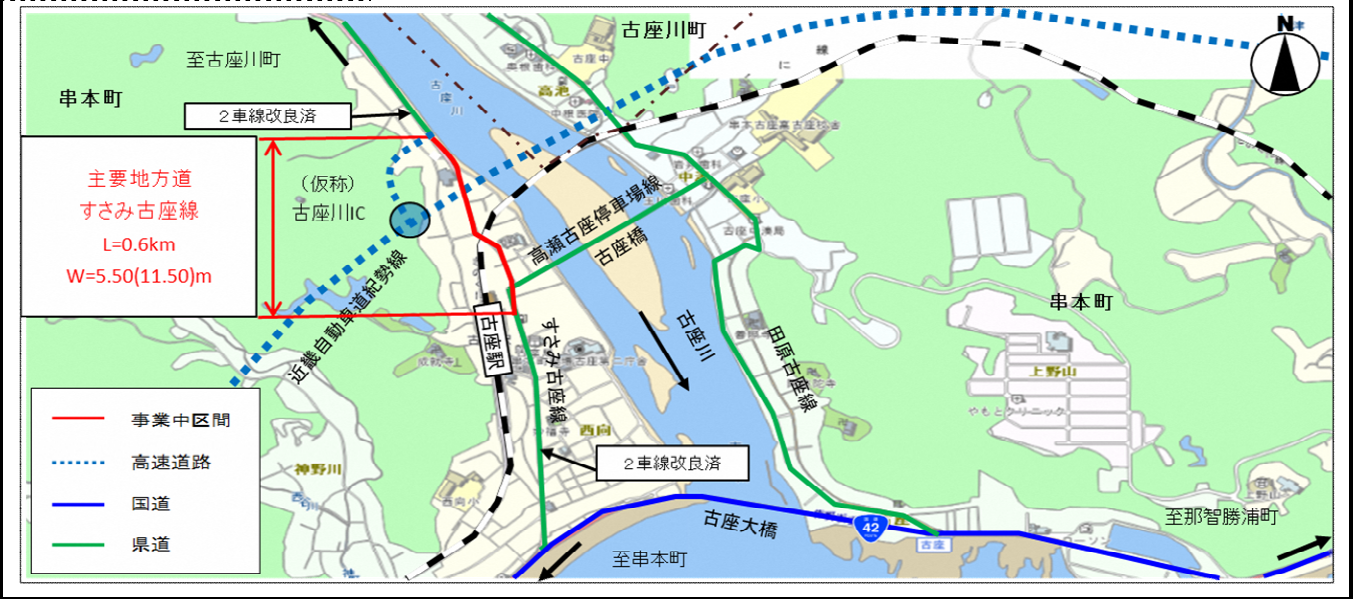


再評価結果（令和6年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局環境安全・防災課
担当課長名：伊藤 高

事業名	高規格ICアクセス 主要地方道 すさみ古座線 西向	事業区分	地方道	事業主体	和歌山県
起終点	自：和歌山県東牟婁郡串本町西向 至：和歌山県東牟婁郡串本町西向			延長	0.6km
事業概要					
<p>主要地方道すさみ古座線は、すさみ町の国道42号を起点とし、内陸部を横断しながら、串本町の国道42号を終点とする延長約37.5kmの主要地方道である。</p> <p>当事業箇所は、現在事業中の近畿自動車道紀勢線（串本太地道路）（仮称）古座川ICから国道42号へのアクセス道路であるが、幅員が狭小で乗用車同士の対向が困難な状態である。</p> <p>また、当路線は第2次緊急輸送道路に指定されており、災害発生時の緊急輸送の強化を図る上で非常に重要な路線であるとともに、南海トラフ地震に伴う津波浸水時における救助・救援の要として、優先的に啓開すべき『啓開ルート』に選定されている。</p> <p>当事業で現道及び踏切部を拡幅することにより、インターアクセスとして高規格道路利用者の利便性向上と地域の産業や観光の振興を図るとともに、緊急輸送道路としてのネットワーク強化を目的としている。</p>					
令和2年度事業化		都市計画決定 -		令和4年度用地着手	
令和4年度工事着手					
全体事業費	約17億円	事業進捗率	約41%	供用済延長	- km
計画交通量	2,700台/日				
費用対効果 分析結果	B/C (事業全体)	1.1	総費用 (残事業)/(事業全体) 5.9/16億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 17/17億円	基準年 令和5年
	(残事業)	2.9	事業費：5.7/15億円 維持管理費：0.23/0.23億円	走行時間短縮便益：17/17億円 走行経費減少便益：0.21/0.21億円 交通事故減少便益：-0.01/-0.01億円	
感度分析の結果					
<p>(事業全体) 交通量：B/C=1.0~1.2 (交通量±10%) (残事業) 交通量：B/C=2.7~3.2 (交通量±10%)</p> <p>事業費：B/C=1.1~1.2 (事業費±10%) 事業費：B/C=2.7~3.3 (事業費±10%)</p> <p>事業期間：B/C=1.1~1.1 (事業期間±20%) 事業期間：B/C=2.9~2.9 (事業期間±20%)</p>					
事業の効果等					
<p>・災害時の第2次緊急輸送道路に位置付けられており、当該事業が完成すれば、災害時のネットワーク強化を図ることができるとともに観光振興等、地域経済の活性化に寄与する。</p>					
関係する地方公共団体等の意見					
串本町及び古座川町から和歌山県に対して早期整備促進の要望あり。					
事業評価監視委員会の意見					
事業継続を妥当と認める。(和歌山県公共事業再評価委員会 令和5年11月22日)					
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等					
<p>・近畿自動車道紀勢線（串本太地道路）を国土交通省が整備中。</p> <p>・スペースポート紀伊（ロケット発射場）が令和4年度に完成。</p>					
事業の進捗状況、残事業の内容等					
用地取得率約53%、事業進捗率約41%					
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等					
用地取得及び工事は順調に進んでおり、予定どおりの事業進捗である。今後は、近畿自動車道紀勢線（串本太地道路）の進捗と合わせ事業の推進を図る。					
施設の構造や工法の変更等					
再生材の利用及びプレキャスト製品の使用等によりコスト縮減に努めている。					
対応方針		事業継続			
対応方針決定の理由					
事業の必要性、重要性は変化なく、費用対効果の投資効果も確保されているため。					

事業概要図



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。